



令和3年11月9日発行

日南町立日南中学校

11月

～図書館便り～

※今月の図書館便りのタイトルは図書館入り口の札と同じにしてみました

11月になり、図書館の表札を秋仕様に変更しました。

図書館に来てくれる人が少しずつ増えてきていることをとても嬉しく思っています。一人でも多くの人が来てくれると良いなあと思いながら、日々、図書館を過ごしやすいつころに変えています。皆さんからも「こんな図書館がいいな」という希望があれば、どんどん聞かせて下さい。待っています。

さて、今回の図書館便りでは、私のお気に入りのことばを紹介したいと思います。それは、

“You are what you read”

このことばは、^{ことわざ} 諺の一部を文字った造語で、ブログのタイトルなどになっていたりして、よく見かけます。ちなみに、元になっているのは“You are what you eat”という^{ことわざ} 諺で、直訳すると「あなたはあなたの食べたものでできている」、つまりところ「自分の健康のために、良いものを食べなさい」ということです。その“eat(食べる)”を“read(読む)”に変えて“You are what you read”。私は、「良い人生のために、良い本に出会いなさい」と解釈しています。

私にとって、本は友達。本がなかったら今の私はなかった、といっても過言ではありません。

本の中には、自分では体験できない、あるいは、思い描くこともできない世界、冒険、価値観があります。時に一人で抱えている心の悩みを晴らしてくれることもあります。みんなにも、本との素敵な出会いをしてほしいと願います。

先月の図書館便りにも書きましたが、図書館では、ほぼ毎日、料理の本、歴史の本、人生の本、詩、パズルなど、日々入れ替えて並べて紹介しています。本は友達。出会わなければ、知ることもありません。ぜひ、本を手にとってみて下さい。

今月の本

安達 教頭先生 のおすすめ

中学時代にしておく50のこと

中谷彰宏



【先生からのコメント】

50 のことすべてが当てはまるわけではないですが、1 つでも共感して「やってみよう」と思ってくれたら嬉しいです。私は 2 章の「何でも楽しむ」、3 章の「ひとりぼっちだから幸せになれた」の中で「なるほど!」「そうだね!」と感ずることがありました。

【内容紹介】友だちができないと悩む人に向けて、友だちはたった一人いればいい、と説く。

もし、一人もいなくても「無人島にいる自分」を想像して、サバイバルの方法を妄想してお話を作って楽しみ、木や花や動物など、自然のものに話しかけていると、孤独を感じずにすむという。

学校の決まりごとギリギリのところを工夫する面白さ。生徒会や先生の手伝いで叶える自己表現。自分でゲームを作る、ゲームを手作りして盛り上がる。

筆者の体験を元にみんなに寄り添ったアドバイスがあげられています。



図書館入り口に英語の童話を掲示しています。英語でウサギは rabbit、カメは turtle とよく知られていますが、ここでは、何と呼ばれているのでしょうか。見に来てね♪

～図書館からお願い～

1. 読んだ本、マンガは元の位置に戻して下さい。
2. 皆さんの家に図書室の本がないか、一度確認してみて、あったら、必ず返して下さい。

今学期の各クラスの貸出冊数です。来月の記録を楽しみにしています。

1年 16冊 2年 14冊 3年 4冊 (2011年11月4日現在)